

# TC 通信

No 104 2022年5月号

- ◆ティーンズ世代=10代のための読書情報誌です。
- ◆ご紹介する本は特に記載がない限り、図書館3階ティーンズコーナー所蔵です。



ティーンズコーナーに新しく入った本からピックアップ。



## 『青春サプリ。自分らしくあるために』

青木 美帆/文 近江屋 一朗/文 日比野 恭三/文 田中 夕子/文  
くじょう/絵 ポプラ社 37/セ/21

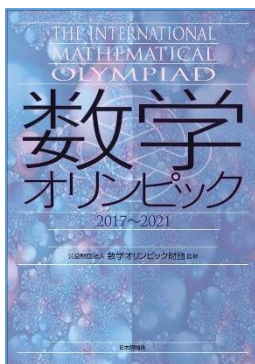
皆さんの中には、コロナ禍で思うように部活ができなかったという人も多いのではありませんか。

今回ご紹介する本は、部活にまつわるお話……。自分らしさを追求していく100%実話の青春ショートストーリーズです。

子どものころからジャズの魅力にとりつかれ、吹奏楽部ではなく常設のビッグバンド部がある高校に進学し、自分の好きな音楽を仲間とともにできる喜びを感じる藤野拓人。

コロナによる休校続きで思うように部活ができない中、地理歴史部の青柳玲奈たちは、毎年出場し伝統となっていたジオラマ作品の大会への不参加を余儀なくされるが、「細部までこだわる」という部の伝統を胸に、規模は小さいけれど別の大会に臨む。

ほかに、花いけバトルに取り組んだ井口あずさ、女子野球にかける花本穂乃佳などなど共感必至の作品たちです。



## 極め道

### 『数学オリンピック 2017~2021』

数学オリンピック財団/監修 日本評論社

410/ス/21 4階一般

皆さんは数学にもオリンピックがあるのはご存じでしょうか？しかもそれは、中高生のためのオリンピックなのです。

運動は苦手だから、オリンピックをあきらめていた方もいると思います。ですが数学オリンピックなら大丈夫。昨年の国内予選には約5千人の中高生が挑戦しています。今回紹介するこの本には募集要項や予選の問題も掲載されていますので、いけるかもしれないと思った方はぜひ。残念ながら今年開催のものは募集期間が過ぎていますが…。来年のために今から勉強するもよし！再来年に備えてみるもよし！いざ数学オリンピックへ☆

# テーマ 花

すっかり暖かくなり、緑が芽吹く季節となりました。  
春から秋にかけては、多くの種類の花を楽しむことができます。  
実際に鑑賞するだけでなく、読書の世界からも、花を楽しんでみませんか？

## 『花ことば』

樋口 康夫/著 八坂書房 627/ハ/16 3階実用

大切な人にお花を贈る時など、ちょっと気になるのが花言葉です。でも同じ花なのに意味の違う何種類もの花言葉があったりして、“花言葉”ってどのようにできたんだろうと疑問に思ったことはありませんか？そんな疑問に答えてくれるのがこの本です！

この花の花言葉は〇〇だよというだけではなく、起源と歴史を探りながら、深く花言葉を知ることができる1冊です。この本を読めばお花についてちょっと“ハナタカ”になれるかも！？

本のカバーに使われている花の絵は、表・背・袖が19世紀後半の詩集の挿絵、裏はラトゥールの『花ことば』の挿絵で、装丁も素敵です。



## 『食用花の歴史』 コンスタンス・L. カーカー/著 メアリー・ニューマン/著

佐々木 紀子/訳 原書房 383.8/シ/19 4階一般

皆さんは花を食べたことがありますか？虫はハードルが高いですが（代替タンパク質としてよく耳にしますが）、花ならまだ食べやすい気がしませんか？実は気が付いていないだけで、日常生活の中で食べられている花もあります。ハイビスカスティーは花からできた食品ですし、ブロッコリーや芽キャベツなどは花の部分を食べています。そこで今回は食用花についての本を紹介します。『食用花の歴史』というタイトルの通り食用花の歴史はもちろんのこと、レシピや食べるにあたっての注意も掲載されています。人類はいかに花を愛しつつ食べてきたのか、意外に豊かな歴史を追った一冊となっています。ぜひご堪能あれ。



## 『花と木のうた』 吉野 弘/著 青土社 911.56/ハ/15 4階一般

本書は、詩人吉野弘氏の多くの詩や短文の中から、花や木にちなんだものを選んで編まれた作品集である。

何も語らず命のサイクルを日々繰り返す花々や木々。それらを科学者のような目で観察しながらも、花の命を人の生きざまになぞらえて、人間の弱さや優しさ、他者とかかわって生きてゆくことの意味が歌われている。静かで平易な言葉で語られているが、胸の奥まで響くのだ。

装画は吉野氏の次女梅原万奈さんによるもので、繊細で美しく、父弘氏の詩に優しく寄り添っているように感じられる。是非、詩とともに味わってみてね。

ところで、「歴史は夜つくられる」と言われるけれど、朝顔の歴史も夜つくられる。そのわけは…。答えは本書「闇と花」の頁にあるよ。



## 『庭』

小手鞠 るい/作 小学館 913/シヨ/21

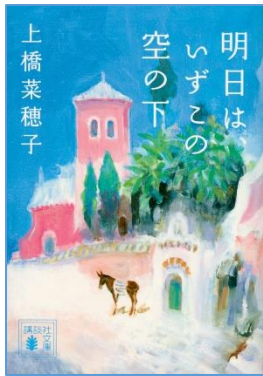
母、妹、義理の父と暮らす中学生のマナは、あることがきっかけでスマートフォンを捨て、家にこもる生活をおくっています。そんなあるとき、実の父が生まれたハワイへ一人で行くことに。自分のことを知らない祖母（本人の前では名前では呼ばないとちょっと空気が悪くなる）や叔母たちと生活するうちマナの心に変化があらわれて…。

“イリマ”や“プア・ケニケニ”などあまり聞いたことのないハワイのお花がたくさん登場し、カラフルな情景が目につかびます。またハワイの神様の話や移民の話などマナを通していろいろなることが知れ、成長していく姿にほろり涙も流れる、そんな心温まる一冊です。



# ボランティアさんのオススメ本 (アリスの会)

## 『明日は、いずこの空の下』



上橋 菜穂子/著 講談社 914.6/ウエ/14 4階一般

今年2月に実写映画化された『鹿の王』の作者、上橋菜穂子さんの高校時代から大学、社会人、現在までの旅のエッセイ集をご紹介します。

高校の研修旅行で訪れたイギリスでは、大好きな児童文学作品の舞台になったサマーハウスへの訪問を願い、その著者宛にお手紙で嘆願します。なんと訪問は実現！そして著者との面会も叶います。17歳の上橋さんの探求心と行動力に、作家の原点そこにあり！と思わずうなってしまう素敵なエピソードです。

新しい生活、社会に踏み出すときには勇気が要りますよね。そして不安を抱える人も多いと思います。

このエッセイは、“じっとしてても始まらない、まずは行動に移すべし”と、未知の世界への第一歩を上橋さんがそっと後押ししてくれるような、上橋さんからのエールも感じました。ぜひご一読を♪

## 図書館員 M の本棚

2011年3月11日の東日本大震災。作家たちが書き綴った鎮魂と復活を願う4編の物語をご紹介します。

①は実在の科学者を紹介して、“放射能”について問いかける。②は立ち入り禁止区域の海に潜り、大切な人の遺品を探し出すダイバーたちの物語。③は今まさに現場から届けられたかのようなリポート風の物語。想像すれば、亡くなった人の声が聴こえるはず…。④は著者が実際に被災地取材した内容と不登校の少年がライターに同行するという形をとったドキュメントノベル。

災害を風化させないで、復興という未来へのバトンを繋ぐことが大切と改めて思う。是非ご一読を。

### ①『マダム・キュリーと朝食を』

小林 エリカ/著

集英社

F/コハ/14 4階一般



### ②『ムーンナイト・ダイバー』

天童 荒太/著

文藝春秋

F/テン/15 4階一般



### ③『想像ラジオ』

いとろ せいこう/著

河出書房新社

F/イト/13 4階一般

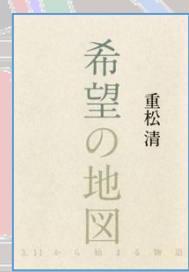


### ④『希望の地図』

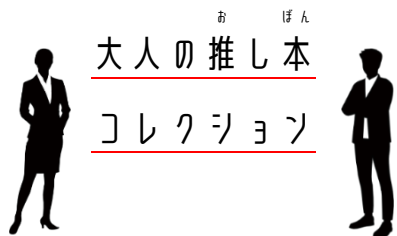
重松 清/著

幻冬舎

F/シケ/12 4階一般



# 大人の お 押しコレ

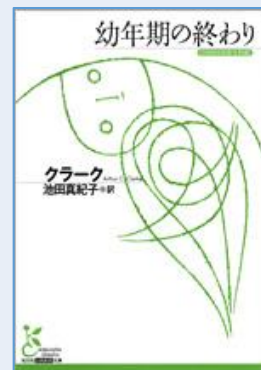


お ぼん  
大人の押し本  
コレクション

## 『幼年期の終わり』

クラーク/著 池田 真紀子/訳

光文社 933/ヨ/08 3階文庫



とつじよ  
突如、地球に飛来した宇宙船は、世界中の都市の上空にとどまり、異星人は圧倒的な力を持ちながら、それを行使することなく人類を支配していく。異星人が地球に来た理由は何か。

SF小説は空想の世界を書いたもの。こんなことは、実際には起こらないと分かっているけど、この世界観にぐいぐい引き込まれて読んでいくうち、最後には人間の幸せは何なのかって考えさせられる。

SF小説の傑作といわれるだけあって面白い。

## 名作 たからばこ



## 『教室に並んだ背表紙』

相沢 沙呼/著 集英社 F/アイ/20



図書室を舞台に学生ならではの悩みや孤独などを描いた計六編の短編集です。

作者は推理小説も書いている相沢沙呼さん。そのためか推理要素を含む部分もあり単純に面白い。

しかし！！それだけではありません。心の動きの描き方がリアルなのです。

第一話で、大きな声ではしゃぐ集団の1人三崎さんに苦手意識を抱く“あおちゃん”が登場しますが、苦手な人を見た時の感情や苦手なのに気になってしまうときの様子だとか、本当に真に迫っているのです。その他にも、キャラクターに恋をする子や、人が捨てた読書感想文で自分のものを書こうとしている子などいろいろな主人公が登場しますが、そのたびに体験していない事でも「その気持ちわかる」となるから不思議です。

小説ですが人間関係を学べる本でもあると思うので一読あれ～！

## ティーンズコーナーで待っています！

ティーンズコーナーは、中高生（ティーンズ）世代向けに、さまざまなジャンルの本を集めたコーナーです。図書館3階の北側自動ドアから入り、まっすぐ進んだ先の左側の本棚にあります。看板が目印！

悩み解決のヒントになる本、知識を深める本、趣味を広げる本など、児童書よりもステップアップした内容のものや、10代の皆さんにおすすめの読み物を用意しています。

「〇〇について調べたい！」  
「△△の本はどこ？」など、  
本に関する相談や探し物は  
職員に気軽に聞いてみてね。



発行：春日井市図書館

愛知県春日井市鳥居松町 5-44 TEL(0568)85-6800

<http://www.kasugai-lib.jp/>

※表紙画像の掲載にあたっては出版社から許諾を得ています。